

発信日：令和6年（2024年）10月22日（火）

発信元：つくば市 市長公室 広報戦略課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

第66次南極地域観測隊員が副市長を表敬訪問しました



第66次南極地域観測隊員に決定したつくば市に縁のある隊員が、松本副市長を表敬訪問しましたのでお知らせします。

【日 時】令和6年10月21日（月） 15:00

【出席者】第66次南極地域観測隊

のしま たかゆき
越冬隊 野島 孝之 隊員（気象担当：気象庁）

どい かずたか
夏隊 土井 一剛 隊員（測地担当：国土地理院）

ほんだ しゅんすけ
夏隊 先遣・内陸ドーム隊 本多 俊介 隊員（天文チーム：筑波大学）

南極OB会茨城支部

うえだ いさお
第55次夏隊 植田 勲 幹事長（国土地理院）



※写真提供可
※プロフィール別紙参照
※左から野島隊員、土井隊員、本多隊員

【第66次南極地域観測隊スケジュール】

令和6年10月27日 先遣隊が空路で南極に向けて日本を出国
12月4日 空路でフリーマントル（オーストラリア）に向けて日本を出国
12月9日 南極観測船「しらせ」にて、昭和基地に向けてフリーマントルを出港
令和7年2月24日 夏隊 帰国予定
令和8年2月下旬 越冬隊 帰国予定

【その他】

毎年、市内の各研究機関等から南極地域観測隊員が派遣されています（平成25年から令和6年の12年間で延べ55名）。つくば市職員も第55次越冬隊隊員として参加しており、南極地域観測隊員の活動は、つくば市の地域資源となっています。

気象庁（越冬隊 気象担当 先遣隊）：野島 孝之（のじま たかゆき）

<プロフィール>

1991年大阪府生まれ。

2014年に気象庁へ入庁後、2021年4月から2024年3月まで高層気象台に勤務。

66次観測隊では定常観測の気象観測を担当。

適切な観測を行いつつ、念願だった南極における生活を楽しみます。



国土地理院（夏隊 測地担当）：土井 一剛（どい かずたか）

<プロフィール>

1983年生まれ、千葉県出身。

2006年に国土地理院に入省後、2010年から主につくば市で勤務。

国土地理院に入省後、地形図の修正や空中写真の撮影などを担当。

66次観測隊では、測地測量やドローンによる空中写真撮影を実施予定。

初めての南極ですが、隊員同士で協力し合いながら、これまで受け継がれてきた観測を継続できるように尽力します。



筑波大学（夏隊 先遣・内陸ドーム隊 天文チーム）：本多 俊介（ほんだ しゅんすけ）

<プロフィール>

1990年千葉県生まれ。

2009年に筑波大学に入学して2018年に素粒子実験の研究で博士号を取得。しばらくつくばを離れてポスドク研究員をしており、2022年から助教としてふたたび筑波大学に所属。

現在は宇宙のはじまりを天文観測で研究しています。地上最高の観測サイトである南極でのサブミリ波・テラヘルツ天文学の第一歩として今回の第66次南極観測隊員に参加します。



【参考：随行】

南極OB会茨城支部幹事長

国土地理院（第55次夏隊参加）：植田 勲（うえだ いさお）

<プロフィール>

1975年広島県生まれ。2001年に国土地理院に入省後、2003年からつくば市民。第55次南極観測隊につくば市の塚本健二氏とともに参加。

令和5年度途中から南極OB会茨城支部幹事長として、観測隊員を応援。

